

国と市の食育推進計画目標項目

国と同じ項目
国と異なる項目

第3次食育推進基本計画(国)			第3次千葉市食育推進計画						第4次食育推進基本計画(国)		
項目	現状値	目標値	項目	対象	現状値	目標値	項目	現状値	目標値		
食育に関心を持っている国民の割合	75.0%	90%以上	食育に関心のある人の割合の増加	20歳以上の市民	64.7%	90%以上	食育に関心を持っている国民の割合	83.2%	90%以上		
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週9.7回	週11回以上	共食の増加 (食事を1人で食べる子どもの割合の減少)	保育所(3歳以上児) 幼稚園(3～5歳児) 小学5年生 中学2年生	朝食	6.3%	減少	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週9.6回	週11回以上	
						3.6%					
						26.5%					
						48.2%					
				保育所(3歳以上児) 幼稚園(3～5歳児) 小学5年生 中学2年生	夕食	0.5%	減少				
						0.0%					
						4.7%					
						11.7%					
地域等で共食したいと思う人が共食する場合	64.6%	70%以上	—	—	—	—	地域等で共食したいと思う人が共食する場合	70.7%	75%以上		
朝食を欠食する子供の割合	4.40%	0%	朝食を欠食する人の割合の減少	保育所(1～2歳児) 保育所(3歳以上児) 幼稚園(3～5歳児) 小学3年生 小学5年生 中学2年生 15～19歳男子 15～19歳女子 20歳代、30歳代の市民	1.2%	0%	朝食を欠食する子どもの割合	4.60%	0%		
					1.0%						
					0.6%	0%					
					2.8%						
					2.7%						
					3.3%	2%以下					
					9.1%						
					3.5%						
20歳代、30歳代の市民	13.4%	減少	朝食を欠食する若い世代の割合	21.5%	15%以下						
中学校ににおける学校給食実施率	87.5% (26年度)	90%以上	—	—	—	—					
学校給食における地場産物を使用する割合	26.9% (26年度)	30%以上	学校給食における地場産物を使用する割合の増加(品目ベース)	小学校	25.2%	30.0%以上	学校給食における地場産物を使用する割合(金額ベース)を現状値(R1)から維持・向上した都道府県の割合	—	90%以上		
学校給食における国産食材を使用する割合	77.3% (26年度)	80%以上		中学校	17.4%		学校給食における国産食材を使用する割合(金額ベース)を現状値(R1)から維持・向上した都道府県の割合	—	90%以上		
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食っている国民の割合	57.7%	70%以上	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日 がほぼ毎日の人の割合の増加	20歳以上の市民	57.7%	80%以上	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合	36.4%	50%以上		
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食っている若い世代の割合	43.2%	55%以上		20～30歳以上の市民	35.9%	55%以上	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	27.4%	40%以上		
生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民の割合	69.4%	75%以上	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩に気をつけた食生活を実施している人の割合の増加	20歳以上の市民	76.5%	増加	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実施する国民の割合	64.3%	75%以上		
食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業の登録数	67社 (26年度)	100社以上	—	—	—	—					
ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合	49.2%	55%以上	よく噛んで味わうように心がけている人の割合の増加	20歳以上の市民	61.9%	65%以上	ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合	47.3%	55%以上		
食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民数	34.4万人 (26年度)	37万人以上	—	—	—	—	食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数	36.2万人※	37万人以上		
農林漁業体験を経験した国民(世帯)の割合	36.2%	40%以上	—	—	—	—	農林漁業体験を経験した国民(世帯)の割合	65.7%	70%以上		
食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合	67.4% (26年度)	80%以上	—	—	—	—	食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合	76.5%	80%以上		
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合	41.6%	50%以上	—	—	—	—	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合	50.4%	55%以上		
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている若い世代の割合	49.3%	60%以上	—	—	—	—					
食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合	72.0%	80%以上	—	—	—	—	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合	75.2%	80%以上		
食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する若い世代の割合	56.8%	65%以上	—	—	—	—					
推進計画を作成・実施している市町村の割合	76.7%	100%	—	—	—	—	推進計画を作成・実施している市町村の割合	87.5%※	100%		
			肥満者の割合の減少	小学5年生男子	4.4%	減少					
				小学5年生女子	3.2%						
			やせている人の割合の減少	20～60歳代男性	27.2%	20%以下					
				40～60歳代女性	18.2%	13%以下					
			野菜摂取量の増加(1日あたり)	20歳代女性	18.8%	20%以下					
			千葉県食生活改善推進員の増加	15歳以上の市民	275g	350g以上	1日当たりの野菜摂取量の平均量	280.5g※	350g以上		
			地産地消推進店登録数の増加	—	290人	330人					
			販売機会支援実施日数(フェア・朝市・ふれあい市)の増加	—	40件	60件					
			—	—	85日	120日					
									1日当たりの果物摂取量100g未満の者の割合	61.6%※	30%以下
									1日当たりの食塩摂取量の平均量	10.1g※	8g以下
									栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数	月9.1回※	月12回以上
									産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合	73.5%	80%以上
									環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民の割合	67.1%	75%以上
									郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている国民の割合	44.6%	50%以上